

平成29年度国立特別支援教育総合研究所セミナー

テーマ

インクルーシブ教育システムの推進

—多様な学びの場における特別支援教育の役割—

期 日 平成30年2月16日（金）・17日（土）
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

National Institute of Special Needs Education



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

日程及び会場

【1日目】

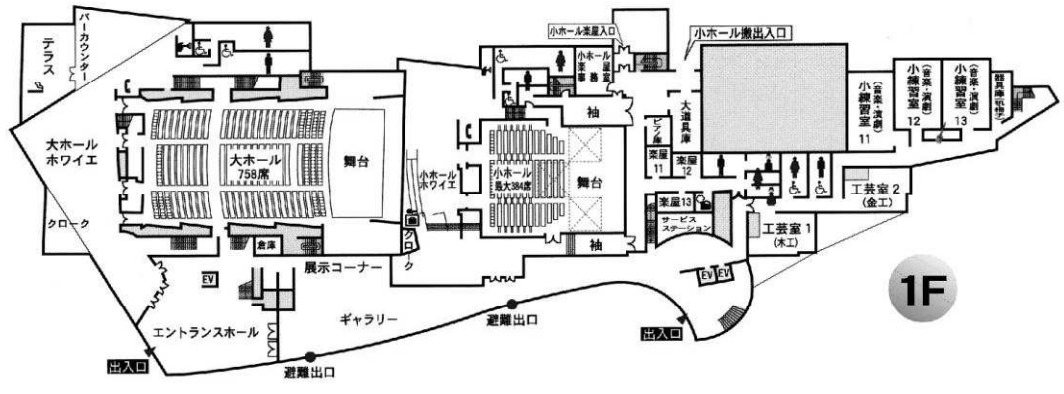
2月16日(金)	12:30 - 12:45	第31回辻村賞授賞式	カルチャー棟大ホール ※小ホールにて映像視聴可
	13:00 - 13:20	開会式	
	13:30 - 14:00	行政説明	
	14:10 - 15:10	基調講演	
	15:20 - 16:55	シンポジウム	

【2日目】

2月17日(土)	9:30 - 10:00	研究所紹介	カルチャー棟大ホール、小ホール
	10:10 - 12:10	基幹研究(横断的)研究成果報告 研究成果報告① 研究成果報告②	カルチャー棟小ホール カルチャー棟大ホール
	12:10 - 13:10	休憩	
	13:10 - 14:00	ポスター発表等各種展示*	カルチャー棟展示コーナー
	14:10 - 16:10	地域実践研究報告／発達障害理解・啓発セミナー／ ICT機器展示及び演習 地域実践研究報告 発達障害理解・啓発セミナー ICT機器展示及び演習	カルチャー棟小ホール カルチャー棟大ホール センター棟102号室

*ポスターは、2日目の9:00から掲示する予定です。

カルチャー棟構内図

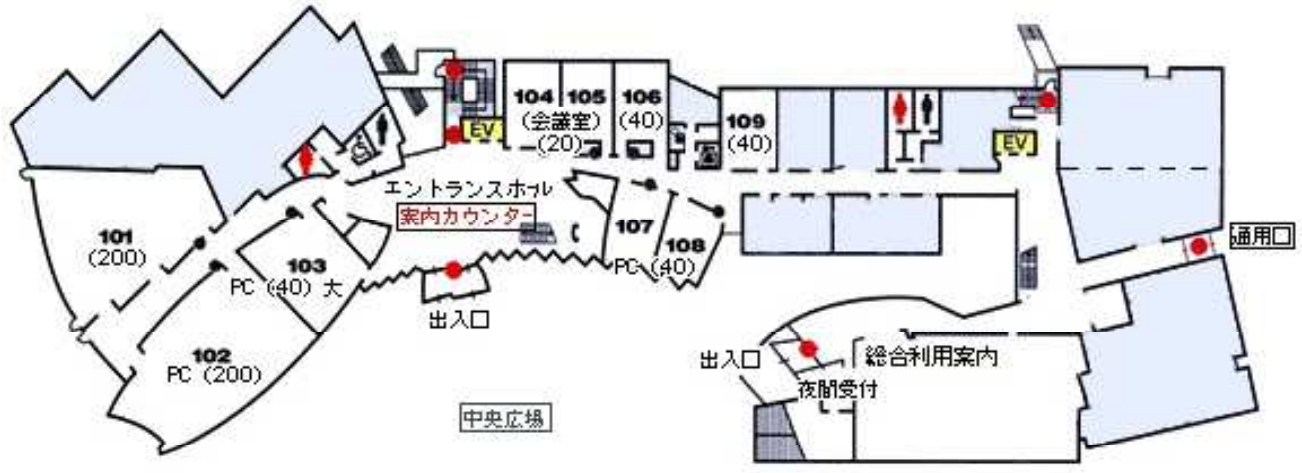


センター棟構内図

1階

2日目14:10-16:10 ICT機器展示及び演習

会場102号室



目 次

セミナー趣旨-----	1
【1日目】	
開会式-----	2
主催者挨拶 国立特別支援教育総合研究所 理事長 宍戸 和成 文部科学省挨拶 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長 中村 信一 氏	
行政説明-----	2
特別支援教育行政の現状と課題 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長 中村 信一 氏	
基調講演-----	3
新学習指導要領等を踏まえた教育の展開 －特別支援教育の推進とさらなる充実の視点から－ 文部科学省初等中等教育局 視学官 （併）特別支援教育課 特別支援教育調査官 丹野 哲也 氏	
シンポジウム-----	5
新学習指導要領に関する、多様な学びの場における取組や課題について 全国特別支援学校長会 会長 横倉 久 氏 全国特別支援学級設置学校長協会 会長 山中 ともえ 氏 全国連合小学校長会 監事 大字 弘一郎 氏	
【2日目】	
研究所紹介-----	6
基幹研究（横断的）研究成果報告①／②-----	7
研究成果報告①：我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究 研究成果報告②：通常の学級と通級による指導の学びの連続性の在り方 －通級による指導の成果を通常の学級の指導に生かす方策－	
ポスター発表等各種展示の概要-----	10
地域実践研究成果報告／発達障害理解・啓発セミナー／機器展示-----	12
地域実践研究成果報告：インクルーシブ教育システムの推進 －地域実践研究の取組と課題から－ 発達障害理解・啓発セミナー：発達障害のある子供の円滑な社会参加に向けての早期からの一貫した支援－保健、医療、福祉、労働等の視点からライフステージに応じた教育的支援を考える－ 機器展示：支援機器等教材普及促進事業より ーICT機器展示及び演習ー	

セミナー趣旨

インクルーシブ教育システムの推進

—多様な学びの場における特別支援教育の役割—

趣 旨

国立特別支援教育総合研究所（NISE）では、研究活動等の成果普及や質の向上、教育関係者や関係機関との情報共有を図るため、毎年、本セミナーを開催しています。

本研究所は、昨年度から第4期の中期目標期間（平成28年度～平成32年度）を迎えました。第4期においては、国や地方公共団体等と連携・協力しつつ、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応し、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することを目指しています。

本セミナーは、新学習指導要領関連の基調講演とシンポジウム、基幹研究・地域実践研究の研究成果報告、また、発達障害の理解・啓発セミナーやICT機器の展示会等を企画し、メインテーマの「インクルーシブ教育システムの推進」のために、「多様な学びの場における特別支援教育の役割」を考える機会としました。特別支援学校、特別支援学級、通常の学級の先生方はじめ、教育機関の関係者にとどまらず、様々な分野の皆様にも興味をもっていただける内容としています。

本セミナーが、参加された皆様にとって、特別支援教育の推進のための実り多い機会となることを期待しております。

理事長 宍戸 和成

【1 日目】

開会式

主催者挨拶

宋戸 和成（国立特別支援教育総合研究所 理事長）

文部科学省挨拶

中村 信一 氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長）

行政説明

講 師

中村 信一 氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長）

基調講演

新学習指導要領等を踏まえた教育の展開

－特別支援教育の推進とさらなる充実の視点から－

講師 丹野 哲也 氏（文部科学省初等中等教育局 視学官
（併）特別支援教育課 特別支援教育調査官）

1 学習指導要領等改訂の経緯

（１）これまでの学習指導要領等改訂の経緯

ア 学校教育制度（初等中等教育）の変遷と特別支援教育のこれまで

イ 学習指導要領の変遷

ウ 学習指導要領改訂の背景

（２）障害のある子供をめぐる動向

ア 障害者支援の在り方の変化

イ 障害者の権利に関する条約に係る動向

2 学習指導要領等改訂の基本方針

（１）幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領の改訂の要点

ア 今回の改訂の基本的な考え方

イ 育成を目指す資質・能力の明確化

ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

エ 障害のある児童生徒への指導について

オ 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進

（２）特別支援学校学習指導要領等改訂の要点

ア 今回の改訂の基本的な考え方

（ア）初等中等教育全体の改善・充実の方向性を重視

（イ）幼稚園、小・中・高等学校の教育課程の連続性を重視

（ウ）障害の重度・重複化、多様化への対応と卒業後の自立と社会参加に向けた充実

イ 特別支援学校幼稚部教育要領，小学部・中学部学習指導要領の構成

【小・中学部を中心とする改訂の要点】

ウ 総則

- (ア) 資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」
- (イ) カリキュラム・マネジメントの充実
- (ウ) 児童生徒の調和的な発達の支援，家庭や地域との連携・協働
- (エ) 重複障害者等に関する教育課程の取扱い

エ 各教科

- (ア) 視覚障害者，聴覚障害者，肢体不自由者及び病弱者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校
- (イ) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校

オ 特別の教科 道徳，外国語活動，総合的な学習の時間，特別活動

カ 自立活動

- (ア) 内容の新たな規定
- (イ) 個別の指導計画の作成と内容の取扱い

3 新学習指導要領等を踏まえた教育の展開

- (1) 「社会に開かれた教育課程」の実現
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- (3) 職責や役割に応じた「カリキュラム・マネジメント」の視点
- (4) 障害のある人とともにある「心のバリアフリー」授業の全面展開に向けて

シンポジウム

「新学習要領関連に関する、多様な学びの場における取組や課題について」

<概要>

新学習指導要領に関連した教育現場で課題または期待と考えられる点について、全国特別支援学校長会、全国特別支援学級設置学校長協会、全国連合小学校長会のそれぞれの学校団体における考えや取組について紹介していく。各団体の考えを相互に知ることで、多様な連続した学びの場において、インクルーシブ教育システムをどのように推進していくことができるのかについて考える機会としたい。

新学習指導要領等に関連した基調講演を踏まえて、各教育現場からの情報を発信する場としていく。

校長のリーダーシップと学習指導要領の理念の実現

全国特別支援学校長会 会長 横倉 久
(東京都立大塚ろう学校校長)

特別支援学校小・中学部学習指導要領が告示されました。学校現場では、その趣旨の理解に励み、創意工夫を凝らした教育課程編成を目指し取り組むこととなります。この改革期を好機として捉え、学習指導要領の理念を実現するために、学校組織をどう機能させていけばいいのか、全国の特別支援学校の校長の問題意識やマネジメントの視点に触れながら、共に考えてみたいと思います。

インクルーシブ教育システムの推進

全国特別支援学級設置学校長協会 会長 山中ともえ
(東京都調布市立飛田給小学校長)

小・中学校の児童生徒数が減少する中、特別支援学級や通級による指導を利用する児童生徒は増加しており、多様な学びの場への期待が高まっている。また、次期学習指導要領では、通常の学級における特別な配慮を必要とする児童生徒への指導として、特別支援教育を重視する内容が示された。インクルーシブ教育システムの構築に向け、多様な学びの場における現状と課題を探りたい。

小学校における特別支援教育に関する調査を踏まえて

全国連合小学校長会 監事 大字弘一郎
(東京都世田谷区立山野小学校長)

全国連合小学校長会特別支援教育委員会では、全国の小学校における特別支援教育の一層の充実に向け、特別支援教育の推進上の課題に焦点を当てた調査を継続して実施している。今回のシンポジウムでは、その調査結果を報告し、小学校における特別支援教育の現状と課題を共有するとともに、特別支援教育のより一層の充実に向けた意見及び提言を行いたいと考えている。

【2日目】

研究所紹介

研究所全体の紹介に加えて、WEBコンテンツ（研究成果サマリー、研修コンテンツ、支援教材ポータル）の整備や、今年度より立ち上げた発達障害教育推進センターについても、紹介いたします。

大ホール

紹介者 笹井 弘之 （国立特別支援教育総合研究所 理事）

小ホール

紹介者 新平 鎮博 （国立特別支援教育総合研究所）

基幹研究（横断的）研究成果報告

<趣旨>

本研究所が取り組んでいる基幹研究（横断的研究）の中から、平成 29 年度に終了する 2 つの研究課題を取り上げ、研究成果を分科会形式で報告します。

研究成果報告① 我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究

研究成果報告② 通常の学級と通級による指導の学びの連続性の在り方

ー通級による指導の成果を通常の学級の指導に生かす方策ー

研究成果報告① 我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究

<概要>

「障害者の権利に関する条約」の批准や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行という状況の中で、インクルーシブ教育システム構築は国の重要な政策課題です。

本研究所では、各地域で展開されているインクルーシブ教育システムの構築の成果や課題を可視化する評価指標を作成し、その検証を行うとともに、我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に際して残された課題やその後の展望を示すことにより、今後のインクルーシブ教育システムの構築の進展に寄与することを目的として、「我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究」を平成28年度から5年間の予定で進めています。

本研究成果報告では、インクルーシブ教育システム構築の現状に関する調査の概要を報告するとともに、インクルーシブ教育システム構築の評価指標（試案）を提示します。本研究の研究協力者を交え、会場の皆さんとともに調査結果と評価指標（試案）を協議していきたいと思えます。

<プログラム>

1. 研究報告と話題提供 10:10～11:10

司会進行	横山 貢一	(国立特別支援教育総合研究所)
研究趣旨説明	原田 公人	(国立特別支援教育総合研究所)
研究報告1	星 祐子	(国立特別支援教育総合研究所)
研究報告2	金子 健	(国立特別支援教育総合研究所)

2. 協議 11:15～12:10

フロアと報告者及び研究協力者による意見交換

司会	原田 公人	(国立特別支援教育総合研究所)
研究協力者	河合 康 氏	(上越教育大学)
	小林 倫代 氏	(国立特別支援教育総合研究所 名誉所員)

まとめ

研究成果報告② 通常の学級と通級による指導の学びの連続性の在り方

ー通級による指導の成果を通常の学級の指導に生かす方策ー

<概要>

本分科会では、平成 28～29 年度に実施した基幹研究「特別支援教育における教育課程に関する総合的研究ー通常の学級と通級による指導の学びの連続性に焦点を当ててー」を通して得られた調査結果やそれを基に作成した「手引き書」について報告し、研究協力者を交えてシンポジウム形式で、テーマに沿って今後の方向性を探ります。

<プログラム>

1. 研究報告 【10:10～10:50】 40 分

司会進行	武富 博文 (国立特別支援教育総合研究所)
研究趣旨説明 (10 分)	澤田 真弓 (国立特別支援教育総合研究所)
調査報告 (15 分)	清水 潤 (国立特別支援教育総合研究所)
手引き書について (15 分)	江田 良市 (国立特別支援教育総合研究所)

2. シンポジウム 【10:50～12:10】 80 分

司会進行	笹森 洋樹 (国立特別支援教育総合研究所)
シンポジスト	佐藤 友信 氏 (全国連合小学校長会：江戸川区立東葛西小学校長)
	笛木 啓介 氏 (全日本中学校長会：大田区立大森第三中学校長)
	喜多 好一 氏 (全国特別支援学級設置学校長協会：江東区立豊洲北小学校長)
	澤田 真弓 (国立特別支援教育総合研究所)
指定討論	宮崎 英憲 氏 (東洋大学名誉教授)

ポスター発表の概要

<趣旨>

本研究所の障害別研究の成果発表や実践発表を、ポスター展示及び参加者との質疑応答により行います。下記の内容について、パネル・資料・教材等の展示により紹介するとともに、直接、本研究所の担当者が説明します。

【ポスター発表テーマ】

障害別	テーマ
視覚	平成 24～25 年度専門研究B「特別支援学校（視覚障害）における教材・教具の活用及び情報の共有化に関する研究－ICTの役割を重視しながら－」
	平成 26～27 年度専門研究B「視覚障害のある児童生徒のための教科書デジタルデータの活用及びデジタル教科書の在り方に関する研究－我が国における現状と課題の整理と諸外国の状況調査を踏まえて－」
聴覚	特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育実態調査
知的	平成 27 年度～28 年度 基幹研究 知的障害教育における「育成すべき資質・能力」を踏まえた教育課程編成の在り方－アクティブ・ラーニングを活用した各教科の目標・内容・方法・学習評価の一体化－
肢体不自由	「小・中学校に在籍する肢体不自由のある児童生徒及び学習状況等に関する調査研究」平成 28 年度基幹研究（予備的研究）
病弱	平成 26 年度～27 年度 専門研究B（病弱教育研究班） インクルーシブ教育システム構築における慢性疾患のある児童生徒の教育的ニーズと合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究
	平成 28 年度予備的研究・平成 29 年度基幹研究（病弱教育研究班） 精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育の実態とニーズに関する基礎調査（平成 28 年度予備的研究）精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究（平成 29 年度～30 年度基幹研究）
	小児がんの子供の教育に関する研究の取組み（AYA 世代がん患者の教育支援に関する研究を含む）
言語	言語障害のある子供の教育
	「ことばの教室」がインクルーシブ教育システム構築に果たす役割に関する実際的研究－言語障害教育の専門性の活用－
自閉症	「特別支援学級における自閉症のある子供への自立活動の授業を組み立てる上での要点」（平成 26～27 年度専門研究B）
	「特別支援学校（知的障害）における自閉症教育－アンケート調査から見えてきたこと－」（平成 28～29 年度基幹研究（障害種別））

障害別	テーマ
重複	<p>重度・重複障害がある子供の実態把握、教育目標・内容の設定、及び評価等に資する情報パッケージの開発</p> <p>視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう」のお子さんの教育について</p>
発達	<p>発達障害と情緒障害の関連と教育的支援に関する研究－二次障害の予防的対応を考えるために－（平成 23 年度終了課題）</p> <p>発達障害のある子供への学校教育における支援の在り方に関する実際的研究－幼児教育から後期中等教育への支援の連続性－（平成 23 年度終了課題）</p> <p>高等学校における発達障害等の特別な支援を必要とする生徒への指導・支援に関する研究～授業を中心とした指導・支援の在り方～（平成 25 年度終了課題）</p> <p>発達障害のある子供の指導の場・支援の実態と今後の指導の在り方に関する研究－通級による指導等に関する調査をもとに－（平成 27 年度終了課題）</p> <p>発達障害等のある生徒の実態に応じた高等学校における通級による指導の在り方に関する研究－導入段階における課題の検討－（平成 28 年度～平成 29 年度課題）</p>

地域実践研究成果報告/発達障害理解・啓発セミナー/機器展示

<趣旨>

インクルーシブ教育システム推進センターで取り組んでいる地域実践研究の「インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究」、「交流及び共同学習の推進に関する研究」の二つを報告します。

また、発達障害者支援法の改正等を受けて、平成 29 年 4 月より発達障害教育情報センターを、独立した部署である「発達障害教育推進センター」を設立しました。発達障害理解・啓発に役立つセミナーを開催します。

このほか、「支援機器等教材普及促進事業より～ICT機器展示及び演習～」では、支援機器等教材の展示や演習を行います。

地域実践研究成果報告

インクルーシブ教育システムの推進　－地域実践研究の取組と成果から－

発達障害理解・啓発セミナー

発達障害のある子供の円滑な社会参加に向けての早期からの一貫した支援
－保健、医療、福祉、労働等の視点からライフステージに応じた教育的支援を考える－

支援機器等教材普及促進事業より　－ICT機器展示及び演習－

地域実践研究成果報告

インクルーシブ教育システムの推進 ―地域実践研究の取組と成果から―

<概要>

地域実践研究は、平成 28 年度より開始した新しい体系の研究です。地域や学校が直面するインクルーシブ教育システム構築に関する課題について、その解決を図るための実践的な研究を都道府県・指定都市教育委員会から派遣された地域実践研究員と共に地域と協働して推進しています。

平成 28・29 年度は、二つのメインテーマの下、以下の 4 テーマに取り組んでいます。

メインテーマ 1：インクルーシブ教育システム構築に向けた体制整備に関する研究

サブテーマ：地域におけるインクルーシブ教育システム構築に関する研究

インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究

メインテーマ 2：インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育に関する

実際研究

サブテーマ：交流及び共同学習の推進に関する研究

教材教具の活用と評価に関する研究

平成 28 年度は 4 地域から、今年度は 13 地域から地域実践研究員が派遣され、地域との緊密な連携協力関係をつくり、課題解決につなげると共に、研究成果やインクルーシブ教育システムに関する最新情報を提供することで、地域の理解・啓発を推進しています。

本報告では、「インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究」及び「交流及び共同学習の推進に関する研究」に焦点を当て、研究の内容や成果を報告すると共に、地域実践研究に参画した地域から、地域における取組や成果、今後の展望等を語っていただきます。指定討論者からは、インクルーシブ教育システム推進に向けた課題、地域実践研究への期待等をお話いただく予定です。

<プログラム>

司会進行	深草 瑞世	(国立特別支援教育総合研究所)
研究概要説明	星 祐子	(国立特別支援教育総合研究所)
研究報告 1	久保山茂樹	(国立特別支援教育総合研究所)
	西 聡 氏	(指定研究協力地域：埼玉県教育委員会)
	坂口 勝信 氏	(埼玉県教育委員会派遣地域実践研究員)
研究報告 2	定岡 孝治	(国立特別支援教育総合研究所)
	前田 貴子 氏	(指定研究協力地域：静岡県教育委員会)
	遠藤麻衣子 氏	(静岡県教育委員会派遣地域実践研究員)
質疑応答		
指定討論	原 広治 氏	(島根大学教授：地域実践研究アドバイザー)
まとめ		

発達障害理解・啓発セミナー

発達障害のある子供の円滑な社会参加に向けての早期からの一貫した支援
～保健、医療、福祉、労働等の視点からライフステージに応じた教育的支援を考える～

<概要>

発達障害のある子供の基本的な症状は生涯にわたり見られますが、幼児期から学童期、思春期・青年期そして成人期とライフステージにより、また生活環境により、社会への適応状態は大きく変容していきます。発達障害のある子供の支援は、年齢や発達段階に応じて検討していくことがとても重要になります。学校教育においても、保健、医療、福祉、労働等の関係機関と連携を図りながら、その年齢や発達段階に応じて長期的、縦断的な展望を持ち、早期からの一貫した支援の連続性を視野に入れて、教育的支援を考えていく必要があります。

本セッションでは、「発達障害のある子供の円滑な社会参加に向けての早期からの一貫した支援～ライフステージに応じた教育的支援を考える～」をテーマに、保健、医療、福祉、労働等の視点から、学校教育について期待されることについて提言をいただきます。それを受けて幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学等におけるライフステージに応じた教育的支援の在り方について考えてみたいと思います。

<プログラム>

シンポジスト 日詰 正文 氏 (厚生労働省)
 高木 一江 氏 (横浜市中部地域療育センター)
 西村 浩二 氏 (広島県発達障害者支援センター)

司会 笹森 洋樹 (国立特別支援教育総合研究所)

進行 江田 良市 (国立特別支援教育総合研究所)

※大ホールの花ワイエにて、研究紹介パネルや教材教具の展示、研修講義の放映を行いません。

機器展示

支援機器等教材普及促進事業より —ICT 機器展示及び演習—

<概要>

平成 25 年に「障害のある児童生徒の教材の充実に関する検討会」が設置され、本研究所において、障害のある児童生徒のための教材や支援機器の研究・普及に関するセンターとしての役割を果たすことが示されました。このことを受け、本研究所では、支援機器等教材普及促進事業を実施しています。本事業では、障害の状態や特性等に応じた教材、支援機器等活用の様々な取組の情報などを集約管理・データベース化し、特別支援教育教材ポータルサイトを構築し、様々な利用者、関係者への情報共有、提供を行うとともに地域展示会を開催し、その普及活動に取り組んでいます。

本セッションでは、学校における特別支援教育教材ポータルサイトの活用方法の提案や、文部科学省「学習上の支援機器等教材研究開発支援事業」において開発されたアプリ等を使用した演習、支援機器等教材の展示を行い、学校における支援機器等教材の活用について情報交換をします。

<内容>

- ・事業説明「支援機器等教材普及促進事業について」
- ・演習「支援機器等教材研究開発事業において開発されたアプリ等を使用した演習」
- ・展示・説明「支援機器等教材展示及び説明」

運営 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 情報戦略担当

平成29年度国立特別支援教育総合研究所セミナー要項

発行者 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
平成30年2月発行
〒239-8585
神奈川県横須賀市野比5丁目1番1号
電話 046-839-6806
FAX 046-839-6919（総務企画課）
URL <http://www.nise.go.jp/>
